

芦別市まちづくり
高校生・専門学校生アンケート
【 調査結果報告書 】

平成31年3月
芦別市総務部企画政策課

目次

I 調査の概要

1 調査のあらまし	1
2 回答者の属性別内訳	2

II 設問別の調査結果

1 生活しやすい若しくは住みやすいまち	3
2 学校卒業後の定住意向	5
3 あなたの将来の職業	8
4 まちづくりを表す言葉（キーワード）	10

I 調査の概要

1 調査のあらまし

このアンケートは「第6次芦別市総合計画」の策定にあたり、高校生及び専門学校生の皆さんが市に対してどのように認識・評価し、市や自分の将来についてどのような考えを持っているのかを把握するために実施しました。

(1) 調査の方法

- 調査の対象：芦別高校、星槎国際高等学校及び北日本自動車大学校の全生徒
(平成30年11月1日現在)
- サンプル数：347人
- 調査方法：教諭経由にて配布・回収
- 調査時期：平成30年11月13日～平成30年11月20日

(2) 回収状況

- 配布数：347票
- 回収数：325票
- 回収率：93.7%

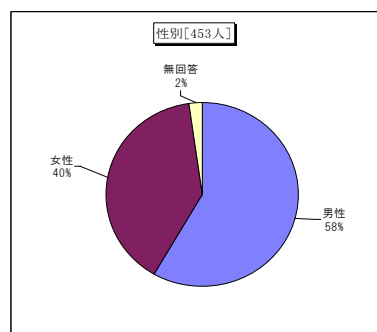
(3) 集計・表記方法

- 集計結果は、小数点第二位を四捨五入した百分率(%)で表示し、四捨五入の誤差より、単一選択の設問(SA)であっても構成比の和が100.0%にならないことがあります。
- グラフや表にある記号は、それぞれ以下を示しています。
 - S A：選択肢の中から1つだけ選んで回答
 - 2 L A：選択肢の中から2つまで選んで回答
 - 3 L A：選択肢の中から3つまで選んで回答
 - M A：選択肢の中からすべてを選んで回答
- 本文、グラフ及び表の選択肢の文言は、実際の調査票の文言を短縮しているものがあります。
- 自由記述回答については、記述事項を要約し、内容別に分類するとともに、類似回答数を()内に数値で示しています。

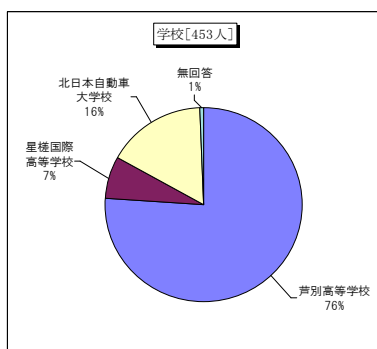
2 回答者の属性別内訳

合計		325人 (100.0%)
----	--	---------------

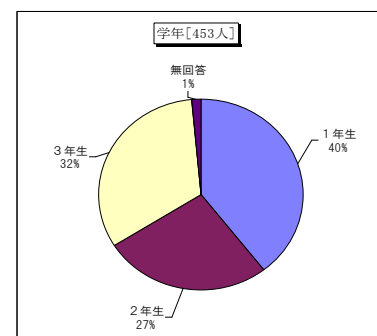
性別	男性	180人 (55.4%)
	女性	145人 (44.6%)
	無回答	0人 (0.0%)



学校	芦別高等学校	282人 (86.8%)
	星槎国際高等学校	18人 (5.5%)
	北日本自動車大学校	25人 (7.7%)
	無回答	0人 (0.0%)



学年	1年生	111人 (34.2%)
	2年生	115人 (35.4%)
	3年生	99人 (30.4%)
	無回答	0人 (0.0%)



ただし、北日本自動車大学校については1年制及び2年制

Ⅱ 設問別調査結果

1 生活しやすい若しくは住みやすいまち

【問2】 芦別市は、生活しやすい若しくは住みやすいまちだと思いますか。

該当する番号1つに○印をつけてください。

全体結果

■本市が「生活しやすい若しくは住みやすいまち」であると「思う」「少し思う」の両者を合わせて43.4%となっており、「どちらともいえない」の30.1%、「あまり思わない」「思わない」の合計22.8%をいずれも大きく上回っている。

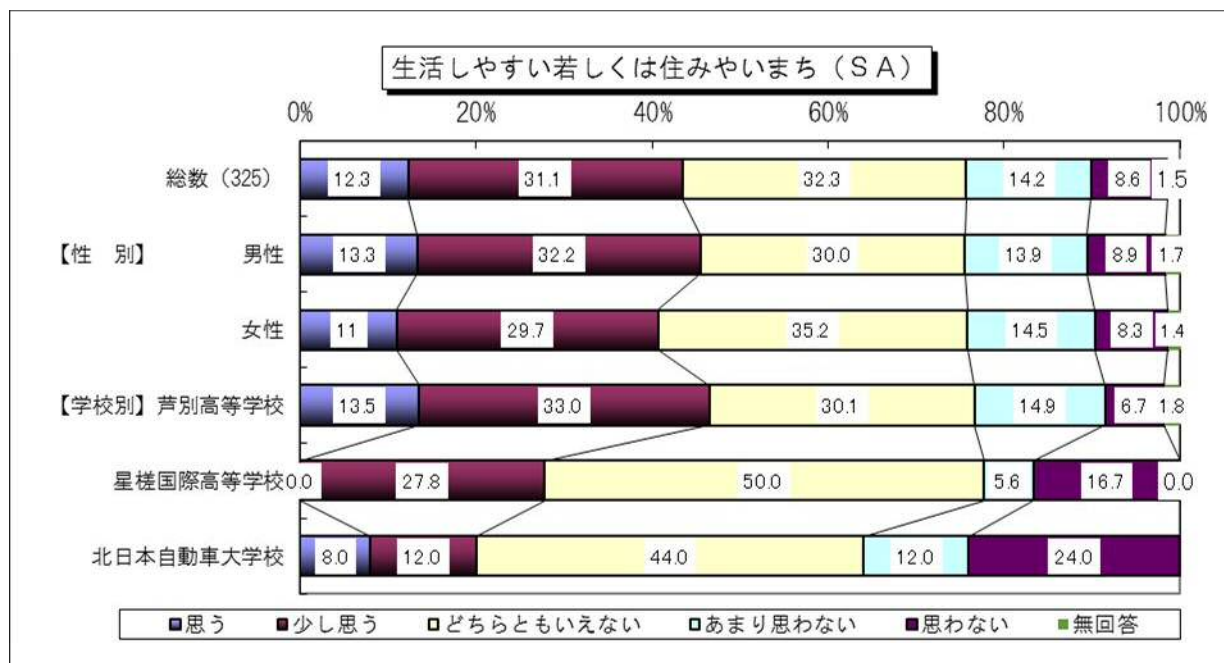
前回調査と比較すると、新たに「どちらともいえない」との選択項目を追加したため単純に比較はできないが、住みやすいと感じている生徒・学生の割合は高くなっている。

過去（平成20年）調査との比較

[単位：%]

項目	思う・少し思う	どちらともいえない	あまり思わない・思わない	無回答
H30	43.4	30.1	22.8	1.5
H20	56.8	—	40.2	3.1

グラフで見る集計結果



■男女別では、男性の方が女性より住みやすいと感じている。また、地元出身の在籍者数の多い芦別高等学校では、半数近くが住みやすいと回答しているが、市外からの在籍者が多い星槎国際高等学校と北日本自動車大学校では、住みやすいと感じている割合は低くなっている。

【問2-1】 芦別市は、「生活しやすい若しくは住みやすいまち」だと思う。思わない。
を選んだ方にその理由をお伺いしました。

【生活しやすい若しくは住みやすい】と思う。その理由は～

項目	内 容	人数
自然	自然が多い。空気が良い。静か。環境が良い。景色がいい。	5 人
	静かで平和な所が良いと思う。	
生活環境 交通 商店等 食育	治安が良い。治安が良く空気がキレイ。平和。	14 人
	交通の便が良い。車と人が少ない。事故なども少なく安全なまち。	3 人
	スーパーが3箇所もある。	
	必要なものが近場で買える。	
	家が近い。	
	食べ物がおいしい。	
災害等	芦別には店が少ないが、札幌に買い物に行ける楽しみがある。 芦別が大好きです。(Ashibetsu is very good city)	
	災害がない。北海道に台風が直撃しても影響なく晴れる。	2 人
人柄 街並み その他	9月に地震があった時も比較的安全だった。電気も直ぐに通った。	
	いい人ばかり。	
	空気が綺麗だし、近所の人たちが優しい。	
	色んな所で人が見てるから、ゆずり合いやあいさつの練習になる。	
	都会より田舎の方が好き。街並みが好き。	
	落ち着いている。	
	最低限困らない。	

【生活しやすい若しくは住みやすい】と思わない。その理由は～

項目	内 容	人数
生活環境 交通 商店等 食育	治安が悪い。	
	交通の便が悪い。店が少ない。電車の便が少ない。	7 人
	砂川～芦別間のJRの乗り換えが不便である。 (4時に学校が終わり家に着くのは8時を過ぎる。)	
	朝だけでも学校前にバスの停留場として着くようにしてほしい。	
	店が少ない。イオンがない。ファストフードがない。コンビニが遠い。	7 人
	交通も店も限りがある。	
	除雪が汚い。	
	買い物が出来る所がない。ゴミの分別が厳しすぎる。でも良い所である。	
	移動費が高く近くの町に行くのが大変。娯楽が少ないので気軽に遊びにくい。	3 人
	歯医者が多い割には病院が少なく困る。	
人柄 その他	何もない。町の人がうるさい。	
	人が集まるような建物がない。少子高齢化で人がいない。	

2 学校卒業後の定住意向

【問3】あなたは、学校卒業後に芦別市に住みたいと思いますか。

あてはまる番号1つに○印を移りたい場所があれば記載してください。

全体結果

■学校卒業後の本市での定住意向については、定住希望者が7.7%と非常に低く、前回調査と比較して5ポイント減少している。

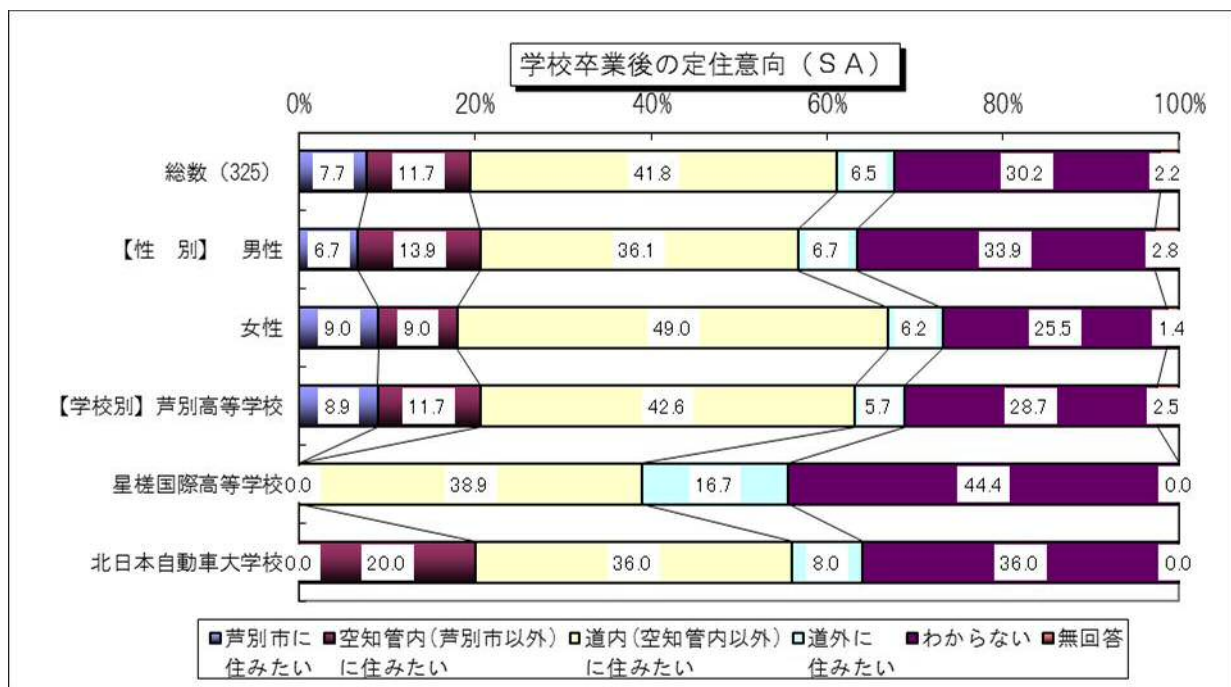
一方、本市以外の空知管内への定住希望者が11.7%、空知以外の道内への定住希望者が41.8%と、前回調査よりもそれぞれ5ポイント以上高くなっている。

過去（平成20年）調査との比較

[単位：%]

定住意向	芦別市	空知管内 (芦別市以外)	道内 (空知以外)	道外	わからない	無回答
H30	7.7	11.7	41.8	6.5	30.2	2.2
H20	12.2	5.1	36.2	4.6	23.6	—

グラフで見る集計結果



■男女別では、女性の方が本市での定住意向が低くなっており、学校別では、星槎国際高等学校、北日本自動車大学校において本市での定住を望んでいるものはいない。

また、本市以外での定住希望先については、空知管内では滝川市が最も多く、空知以外の道内では札幌市が最も多く、次に旭川市となっている。

<住みたい場所>

区分	空知管内 (芦別市以外)		道内 (空知管内以外)		道外		わからない
場所	滝川市	15	札幌市	68	東京都	6	静かで平和な所
	赤平市	3	旭川市	16	京都府	2	雪の降らない所
	岩見沢市	2	江別市	1	千葉県	1	今住んでいる所
			釧路市	1	大阪府	1	
			網走市	1	長崎県	1	
			帯広市	1	名古屋市	1	
			北見市	1			
			紋別市	1	関東	1	
			函館市	1	韓国	1	
			浦河町	1			
			中札内村	1			

【問3-①】前問（問3）で1を選んだ方にお伺いします。（芦別市に住みたいと回答した方）その理由を教えてください。

【芦別市に住みたい理由】

自分が働きたい企業がある。	5人
働く企業がある。	2人
芦別で働きたい。	2人
家が近い。家が上芦別にある。自分の家がある。	4人
ひいばあちゃんが生きている間は、市内にいたいと思う。 (おばあちゃん子なので)	1人
楽だから。一人暮らしをしたくない。地元の方が落ち着く。	3人
地域に貢献したい。家でやってきたことを受け継ぎたい。	2人
家族のため。親に何かあったらすぐに戻れる。	2人
親に芦別しかダメと言われている。	1人

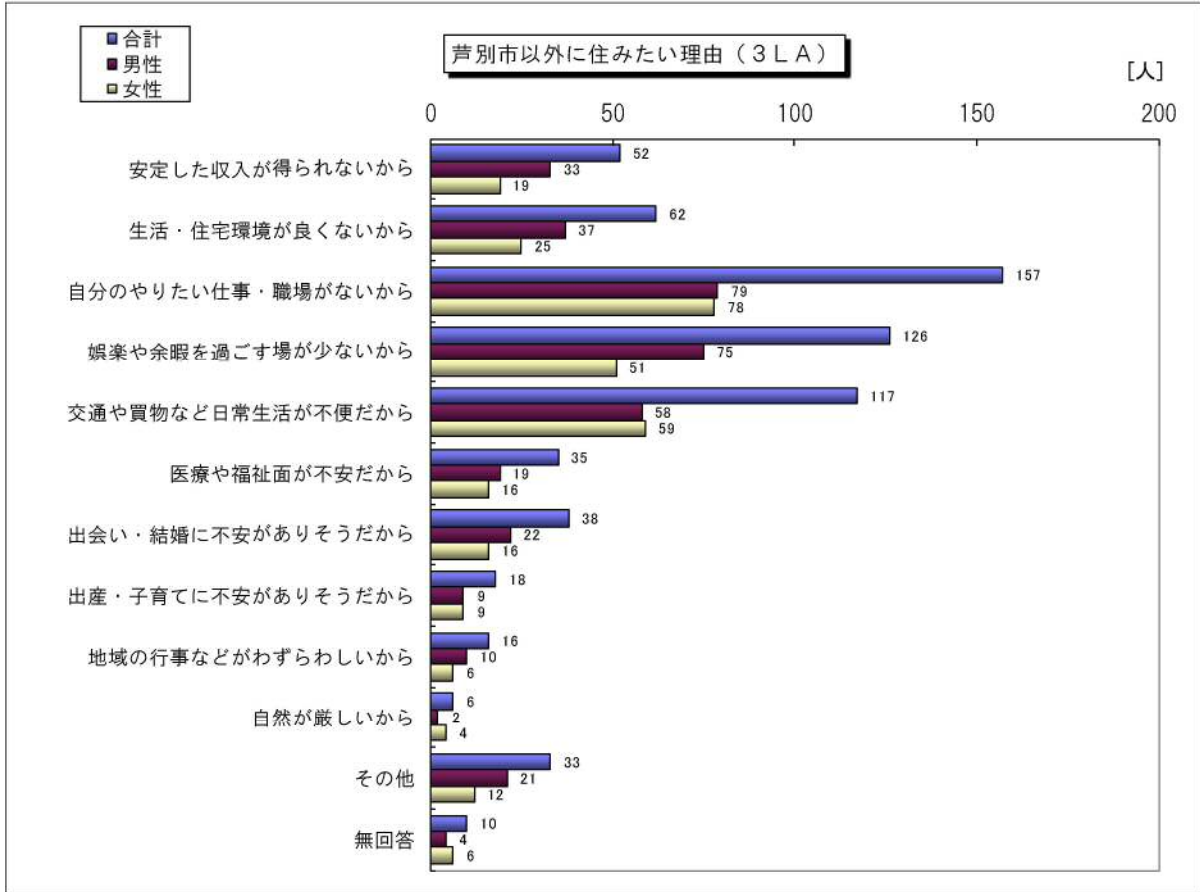
結 果

■本市に住みたいと理由については、希望する就職先があることが最も多く、次に家庭の事情等によることが多い。

【問3-②】前問（問3）で1～5を選んだ方にお伺いします。

芦別市以外に住みたい理由は何ですか。主な理由を選んで番号に○印をつけて下さい。
（複数回答可）

グラフでみる集計結果



■男女別に見ると、「自分のやりたい仕事・職場がないから」が男女ともに第1位、「娯楽や余暇を過ごす場が少ないから」が第2位、「交通や買物など日常生活が不便だから」が第3位と言う結果となっている。

■学校別に見ると、芦別高等学校と星槎国際高等学校が「自分のやりたい仕事・職場がないから」、北日本自動車大学校が「娯楽や余暇を過ごす場が少ないから」が第1位となり、その他、第3位までに「交通や買物など日常生活が不便だから」を含めこの3項目が独占している。

【「その他」の内容】

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ■住む理由がない。 ■実家がある。 ■家から仕事へ通いお金を貯めたい。 ■今、住んでいるまちと遠く慣れていない。 ■電波が悪い。 ■北海道庁に勤めたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ■進学（大学・専門学校）するため。 ■ゴミの分別が複雑で難しい。 ■イオンがない。 ■芦別市を含む安全な場所に住みたい。
（静かなまち） ■わからない。 |
|---|--|

3 あなたの将来の職業

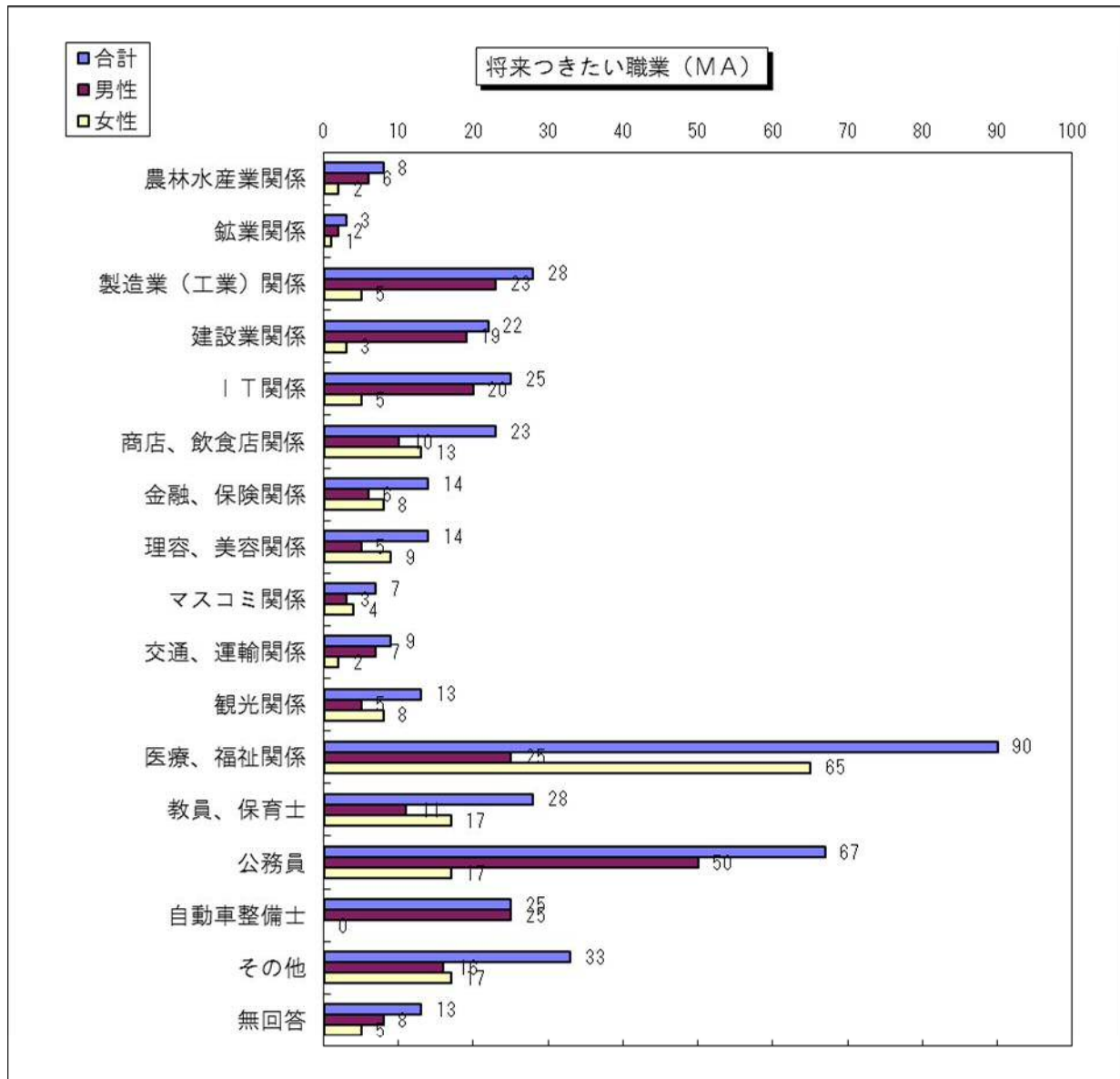
【問】あなたは将来、どのような職業につきたいと考えていますか。あなたのお考えに近いものを選んで番号に○印をつけてください。（複数回答可）

全体結果

■将来つきたいと思う職業については、「医療・福祉関係」が最も多く、次に「公務員」が続き、以下、「その他」「教員、保育士」「製造業（工業）関係」「IT関係」「自動車整備士」の順となっている。

なお、「その他」の回答が多いほか、全体的に回答の分散傾向がみられ、職業観の多様化がうかがえる。

グラフでみる集計結果



【「その他」の回答】

トリマー	4	事務	1
プログラム系	3	職人	1
動物関係	2	漁業	1
ウェディングブライダル	2	北海道電力	1
ブライダルフラワー	1	美術関係	1
声優	1	音楽関係やイベント関係	1
歌い手	1	わからない	10

◆「性別」でみるつきたい職業

性別	第1位			第2位			第3位		
	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比
男性	公務員	50	20.7%	自動車整備士	25	10.4%	製造業(工業)関係	23	9.5%
女性	医療・福祉関係	65	35.9%	教員、保育士 公務員 その他	17	9.4%	商店、飲食店関係	13	7.2%

◆「学校別」でみるつきたい職業

学校別	第1位			第2位			第3位		
	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比
芦別高等学校	医療、福祉関係	88	23.7%	公務員	64	17.2%	製造業(工業)関係	27	7.3%
星槎国際高等学校	商店、飲食店関係	5	22.7%	教員、保育士 その他	3	13.6%	I T関係 理容、美容関係 医療、福祉関係 公務員	2	9.1%
北日本自動車大学校	自動車整備士	24	85.7%	農林水産業関係 建設業関係(設計、建設など) I T関係 公務員	1	3.6%	—	—	—

■男女別にみると、男性では「公務員」、女性では「医療・福祉関係」がそれぞれ第1位となっており、男性の第2位は「自動車整備士」、第3位は「製造業（工業）関係」と機械系が多い状況となっている。

一方、女性の第2位は「教員・保育士」「公務員」、第3位は「商店・飲食店関係」と男女による志向の差が顕著である。

学校別にみると、芦別高等学校が「医療・福祉関係」「公務員」が非常に多く、星槎国際高等学校が「商店・飲食店関係」「教員、保育士」、北日本自動車大学校が「自動車整備士」となっており、学校による志向の違いがはっきり表れている。

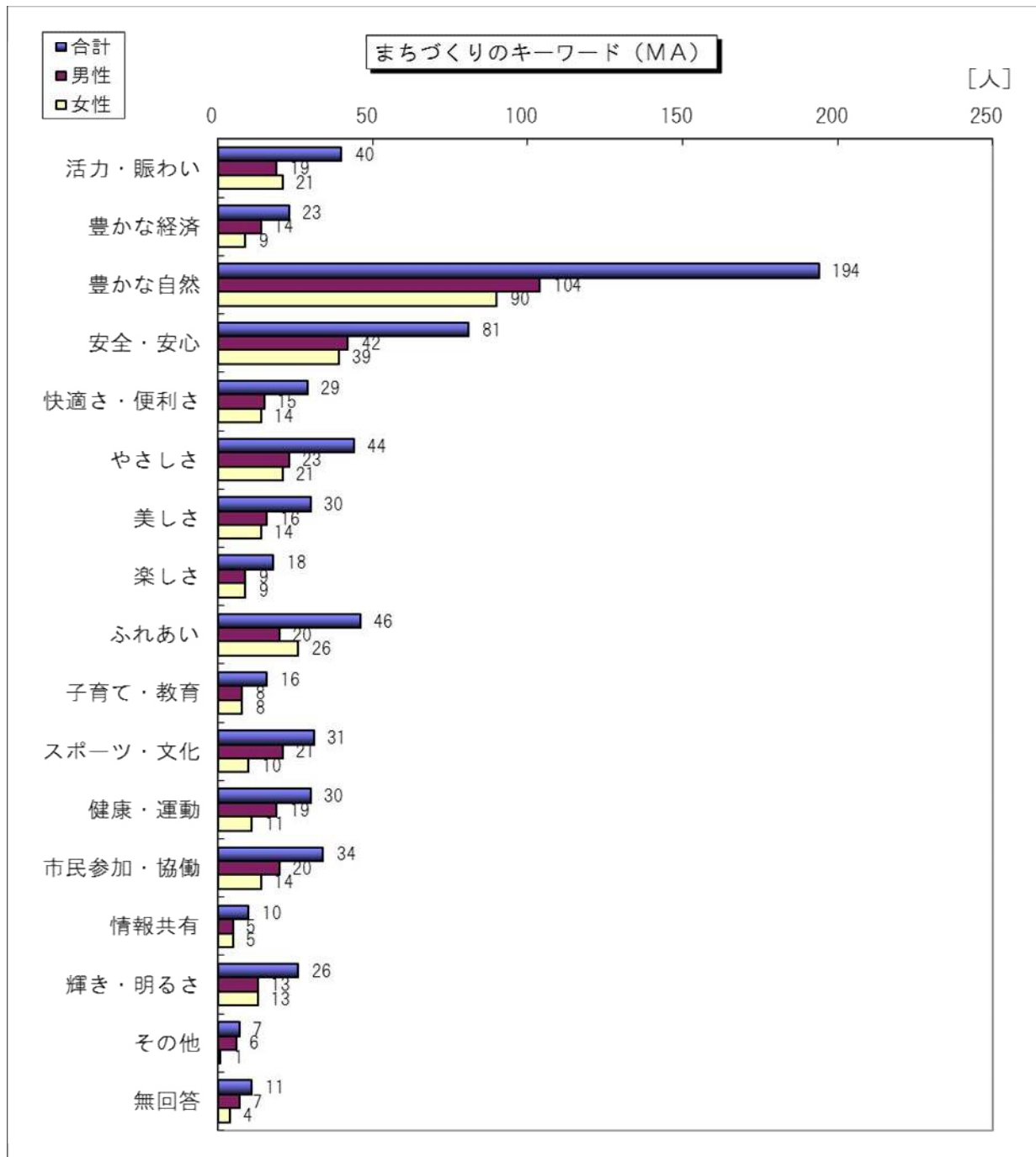
4 “まちづくり”を表す言葉（キーワード）

【問5】 芦別市の“まちづくり”を表す「言葉（キーワード）」として、ふさわしい言葉を選んで番号に○印をつけてください。（複数回答可）

全体結果

■まちづくりで重視すべきキーワードとしては、「豊かな自然」が突出して多く挙げられ、以下「安全・安心」「ふれあい」「やさしさ」「活力・賑わい」の順となっており、豊かな自然を生かしたまちづくりを望む声が多い結果となった。

グラフでみる集計結果



◆「性別」でみる「まちづくり」を表す言葉（キーワード）

性別	第1位			第2位			第3位		
	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比
男性	豊かな自然	104	28.8%	安全・安心	42	11.6%	やさしさ	23	6.4%
女性	豊かな自然	90	29.1%	安全・安心	39	12.6%	ふれあい	26	8.4%

◆「学校別」でみる「まちづくり」を表す言葉（キーワード）

学校別	第1位			第2位			第3位		
	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比
芦別高等学校	豊かな自然	173	28.8%	安全・安心	73	12.2%	ふれあい	42	7.0%
星槎国際高等学校	豊かな自然	6	20.0%	やさしさ	4	13.3%	安全・安心 市民参加・協働	3	10.0%
北日本自動車大学校	豊かな自然	15	37.5%	安全・安心 市民参加・協働	5	12.5%	やさしさ 健康・運動	3	7.5%

全体結果

■男女別にみると、男女ともに第1位は「豊かな自然」、第2位は「安全・安心」となり、第3位は男性が「やさしさ」、女性が「ふれあい」と大きな差がない結果となった。

学校別でも、各学校とも第1位は「豊かな自然」となっており、第2位・第3位に「安全・安心」が挙げられている。

また、芦別高等学校では「ふれあい」、星槎国際高等学校では「やさしさ」、北日本自動車大学校では「市民参加・協働」の回答比率が高くなっている。

その他の回答

星	2
山笠	1
温泉	1
住みやすさ	1